

九州地区の7年10月住宅着工戸数

前年同月比18.4%減の5,868戸、長崎県は5.7%減

国土交通省がまとめた令和7年10月の住宅着工統計によると、九州地区の住宅着工戸数は前年同月比18.4%減の5,868戸で、床面積は同17.6%減となっている。県別の住宅着工戸数は前年同月比で福岡県が15.9%減、佐賀県が7.6%減、長崎県が5.7%減、熊本県が25.1%減、大分県が41.5%減、宮崎県が6.8%減、鹿児島県が23.6%減となっている。

新設住宅着工戸数(令和7年10月、令和6年10月)

都道府県	戸数・件数(戸・件)			床面積の合計(㎡)		
	令和7年10月	令和6年10月	前年対比(%)	令和7年10月	令和6年10月	前年対比(%)
福岡	2,973	3,536	84.1	229,806	281,416	81.7
佐賀	254	275	92.4	23,879	25,376	94.1
長崎	567	601	94.3	41,629	37,554	110.9
熊本	754	1,007	74.9	59,855	80,892	74.0
大分	363	621	58.5	29,598	41,383	71.5
宮崎	439	471	93.2	33,663	41,214	81.7
鹿児島	518	678	76.4	45,303	54,958	82.4
九州地区計	5,868	7,189	81.6	463,733	562,793	82.4
沖縄	1,035	906	114.2	77,810	69,088	112.6
山口	368	552	66.7	32,613	43,883	74.3
全国計	71,871	69,670	103.2	5,443,845	5,399,326	100.8